

# 宇宙居住を目指す 地上・宇宙Dual開発の試み

—宇宙滞在の居住空間における光触媒技術活用—

日時 2019年3月7日(木) 15:00 - 16:30

会場 会議棟6F(605、606会議室)

受講料 無料(事前申込制) [セミナーの登録はこちら](#)

[https://messe.nikkei.co.jp/ac/seminar/#seminar\\_138765](https://messe.nikkei.co.jp/ac/seminar/#seminar_138765)



主催など 主催:光触媒工業会(PIAJ) 協力:日本経済新聞社



木村 真一

東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科 教授  
東京理科大学 スペース・コロニー研究センター 副センター長

スペース・コロニー研究センターは、宇宙開発に不可欠な閉鎖環境に長期間滞在するために必要な技術の研究開発に取り組んでいます。その中には光触媒技術を新しい発想で活用した研究も含まれております。地球上でも今後必要となる循環型社会の実現にも繋がる技術です。今回のセミナーでは本センターの活動について紹介させていただきます。

### 現状の課題

人類のフロンティア拡大に不可欠な閉鎖環境に滞在するためには解決すべき課題が多い

- ・生活に必要なエネルギーの供給
- ・水や空気の再利用
- ・自給自足に必要な食料の生産

### スペース・コロニー研究センター

- ・本学の叡智を結集し、総合力に対応
- ・民間企業との連携も進行中



## 建築・建材展2019

2019年3月5日(火)～8日(金) | 東京ビッグサイト

光触媒工業会のブース番号  
**AC5051**

建築・建材展の登録はこちらから 無料

<https://messe.nikkei.co.jp/register/form/AC/ja>



光触媒工業会ブース  
粗品引換券

